



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!

学習会「介護保険認定基準変更で介護現場がどうなったか」 8月11日 東部東葛ブロック学習会に47人参加 (東京)

今年の4月から介護認定基準が変更になり、介護現場に深刻な影響を与えていました。東部東葛ブロックでは、認定基準の変更で介護現場がどうなっているかを検証し、介護保険制度改善に向けた取り組みを進めるために、8月11日に、足立区社会福祉協議会職員の小野寿彦さんに講師をお願いし、学習会「介護保険認定基準変更で介護現場がどうなったか」を47人の参加で開催しました。

講師から、要介護認定基準の変更は、厚生労働省が2007年6月29日付で発表した「介護給付適正化計画に関する指針」に基づき、都道府県が策定した「介護給付適正化計画」の主要5適正化事業のひとつとして実施されたものであることを、具体的な事例をあげて説明してくれました。

また、厚生労働省の今後の医療・介護改革についても触れ、2012年に診療報酬と介護報酬の同時改定時に、医療・介護制度を根底から形骸化するような改悪が検討されていることも話されました。同時に、措置から介護保険制度になったことにより、介護の市場化が形成される中でコムスン事件に見られるように事業所への事後規制が強まったことも話されました。

参加者から「血のかよっていないやり方だと思います。利用者さんが一生懸命手を上げてくれる姿を見るにつけ心が痛みます」「軽度者が施設に入れず在宅になる方が多いとのことですが、在宅で人間らしい生活を行なって行けるサービスがあるのか疑問です」など、深刻な声が寄せられました。

また、「このような学習会を実施して欲しい」「新しい認定調査の項目をもっと具体的に知りたい」などの要望も出されました。今後も、介護保険制度改善に向け、ブロックとして学習会や宣伝行動などを行なって行く予定です。(東部東葛ブロック事務局次長／中村和司)



国民のための医療・介護へ転換を！10.22中央集会

史上初めて国民の力で自公政権が転換！！引き続き介護改善の要求実現に奮闘しましょう。

- 日 時：2009年10月22日（木）
- と こ ろ：日比谷野外音楽堂（東京）
- プログラム：

省庁交渉	11:00～12:00
中央集会	13:20～15:30
銀座パレード	15:30～16:30

※やくみつるさん（漫画家）、お笑い集団・笑工房も出演します。

署名目標の達成に向けて各事業所で創意工夫の取り組みが進む！ 3ウェーブの会で熊谷駅頭宣伝行動 1時間で101筆！(埼玉)



熊谷生協病院では毎月第3金曜日を「3 ウエーブ」(ナースウェーブ・ドクターウェーブ・介護ウェーブ)の行動日と決め、宣伝行動など様々な取り組みを進めています。8月は「介護署名」に絞った行動として、熊谷駅頭での宣伝に取り組みました。行動には看護師5名、介護職2名が参加。介護をとりまく切実な実態を訴えました。1時間の間に協力いただいた署名はなんと101筆！賛同を寄せる声も多数寄せられ、猛暑も吹き飛ぶ成果となりました。道行く市民から、「自分は、社会福祉の勉強をしています。制度の勉強をすると、困っている人たちが本当に使いきれているのか、それで助かっているのかって気がしてきます。なにより弱い立場の人達が当たり前の生活ができるようになるのが社会保障なのに、矛盾が見えてきますね。社会を良くしていきたいです。頑張って下さい。(20代女性)」、「身近に介護をしてもらっている高齢者がいます。自分は、何もできないけれど、親が大変そう。親が倒れなければいいけど……。(10代男性)」などの声が寄せられました。

いつでもどこにでも署名用紙を携帯して…生協介護センターこだま

生協介護センターこだまでは、あらゆる機会を利用して介護ウェーブ署名に取り組んでいます。所長の竹石さんは、本庄の新婦人の会主催での平塚らいてふ記念館へのバス旅行に参加。車内で署名への協力を訴え、その場で70筆以上の協力をいただいています。近隣事業所への協力のお願いも7月からとりくまれ、回収も徐々に進んでいます。中には署名用紙を取りに訪れる事業所の方もいたりで、驚いたり、喜んだりです。事業所を利用して支部の組合員さんが会議を行う際も、この間の介護保険をめぐる情勢を話し、協力をいただきました。ヘルパーを中心利用者様、ご家族へのお願いも全員分が終了し、こちらの回収も進んでいます。生協介護センターこだまは職員数16名の小さな事業所ですが、お互いが協力しながら介護ウェーブ以外でも利用者様への対応や環境への配慮など、さまざまな取り組みが職員一丸となって進められています。

署名協力を依頼する労働組合をさらに拡大…埼玉民医労

埼玉民医労では、推進本部事務局会議での提起、「推進ニュース」の訴えに呼応して、署名への協力を依頼する労働組合をさらに拡大しています。既報の「さいたまコープ」「埼玉県教職員組合」に加え、「埼玉県高等学校教職員組合」と「埼玉土建」にも協力を依頼することにしました。今回も署名用紙と料金受取人払いの返信用封筒をセットにしてお届けを予定しています。2つの組合とも組合員の多い巨大労働組合です。取り組みの「輪」がさらに大きく広がるものとなります。署名数の爆発的飛躍がますます期待できるものとなりました。

返信用封筒を有効活用して協力依頼…ケアセンターとこしん

ケアセンターとこしん・サービス提供責任者の菰池(こもいけ)さんは7月の実績報告をお届けする際、あわせて署名への協力依頼もしました。ケアセンターから遠い事業所もあったため、いくつかの事業所には料金受け取り人払いの返信用封筒とセットで署名用紙をお渡しています。昨年と同様の取り組みです。この配慮の効果からか、東村山市のH事業所(介護老人保健施設、居宅介護支援、訪問介護等)から、40筆を超す署名が介護ウェーブ事務局まで届きました。少しの工夫から取り組みがさらに広がっています。

(さいたま介護ウェーブ2009推進ニュース No.9～10 2009.8.21／2009.9.4より)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp